



あすいど 未来に挑む

猪名川町立猪名川中学校 学校通信

令和8年6月30日
発行者 石田 健一郎

勝敗を越えて輝いた笑顔 ～体育大会『勝敗笑美戦』～

6月11日（木）、梅雨の晴れ間、絶好の運動日和の中で体育大会が開催されました。

進んで立候補した実行委員の生徒たちが話し合った結果、今年度は連合対決を中心とし、名称を「体育祭」から「体育大会」に戻すことになりました。これは、学年を超えて本気で競い合うことで生まれる生徒同士のつながりを大切にしたいという思いからです。連合同士の応援合戦も復活しました。

一方で、勝敗ばかりにとらわれず、一人一人が輝ける場所があり、勝っても負けても笑顔で最後まで戦い抜きたいという思いも実行委員たちにはありました。そこで考えたスローガンが「勝敗笑美戦(かっばえびせん)」。

最も心配されたのは応援合戦がうまくいくかどうか。連合の中心となって1・2年生を引っ張る立場の3年生は、これまで応援合戦を経験したことがなかったからです。練習が始まった当初は、どう指示を出せばよいかかわからず、戸惑う応援団の姿がよく見られました。しかし、メンバー同士でアイディアを出し合い、練習を重ねるごとに応援の形が進化していきました。そして当日の「全力エール合戦」は各連合趣向を凝らした応援演技で大盛り上がり。猪名中生の底力に驚かされるばかりでした。

その他の種目も工夫にあふれ、最後まで見る者の目を楽しませてくれました。「連合対抗」という形式が生徒たちに火をつけたのか、本気で競技に取り組み、観覧席の生徒もずっと応援している姿が印象的でした。

そんな生徒たちの生き生きした姿や笑顔のおかげで、保護者や来賓の皆様が、帰り際、口々に「楽しかった!」と言ってくださいました。平日にもかかわらずご来場いただいた保護者・地域の皆様に、パワーあふれる猪名中生から“活力”をお届けできたなら幸いです。

スローガンどおり、勝っても負けても笑顔でいられる体育大会を作り上げた実行委員の皆さん、会場の準備や片付けに汗を流してくれたり、テキパキ動いてスムーズな進行に貢献してくれたりした生徒の皆さん、本当にありがとう。そして全力で競技・演技に取り組み、会場に笑顔届けてくれた生徒全員に賛辞を送ります。



↑ 4月 今年の体育大会のコンセプトを職員室で説明する実行委員。大勢の先生たちを前にしても堂々たる姿。



昼休みや放課後に何度も集まり、話し合いを重ねる実行委員。



地域展開した美術クラブも黒板アートや掲示板で体育大会に向けての雰囲気盛り上げた。



← 頼もしい3年生に教えてもらいながら連合の応援用のうちわを製作する1年生。

全校生そろっての開会式の練習。→ マイクを持って全校生に動きを説明する保澤実行委員長。



台風目「ガチ勢ハリケーン」遠心力で弾き飛ばされそうになりながらも笑顔で走る1年生。

今年も光った実行委員の創意



「がちしっぽとり」。いかに相手に気づかれず近づけるかが勝敗の分かれ目。



「誰でもスターエントリーリレー」稽古しながらの力走?で会場を沸かせた「猪名川剣道ブラザーズ」



みんな「JOIN FORCES JUMP」入場からタイム計測スタートで入れ替えがスムーズに。3年生が経験の差を見せつけた。



「ハラハラドキドキ箱運び玉入れ」。音楽が鳴り始めたら玉入れを中止して踊らなければならないが、そのダンスも本気!



「玉運びエクスプレス」。テニスを落とさずにハードルを飛び越えるのは至難の業。

ご協力ありがとうございました!

生徒たちを笑顔で温かく見守り、心からの拍手を送ってくださった保護者や地域の皆様、ご来賓の皆様にご心よりお礼申し上げます。今年も綱引き「腕より足腰」にも多数ご参加くださり、誠にありがとうございました。

また、体育大会当日の受付や駐車場案内等でご協力いただいた保護者会、いなスク応援団の皆様にご心より感謝申し上げます。



今年も綱引きで中学生に勝利して安堵する保護者・教職員連合チーム。